

2026年度 学生募集要項

[学校推薦型選抜]

- 公募制推薦入試Ⅰ期
(教科型・表現力型・保育者養成型
学校教員養成型・国語教員養成型
数学教員養成型・音楽教員養成型)
- 公募制推薦入試Ⅱ期
(表現力型)

目 次

■ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) …	1
■ Web出願の流れ …	6
公募制推薦入試 学校推薦型選抜	
■ 1. 公募制推薦入試Ⅰ期 …	11
■ 2. 公募制推薦入試Ⅱ期 …	23
■ 3. 出願上の注意 …	27
■ 4. 受験上の注意 …	28
■ 5. 合格発表について …	29
■ 6. 入学手続について …	30
■ アクセスマップ	

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

椋山女学園大学は、本学園の教育理念「人間になろう」の下、次のような目標と能力を持ち、大学で得た知性と教養を活かし、「人を大切にし、人と支えあい、自らががんばれる人」となるための教育を目指します。このような教育方針に共感する人であって、次のような意欲・能力を持った人を受け入れます。

1. 大学での学びを通じ、目的や目標を持てる人

学びたい専門分野・領域、研究テーマがある人、将来社会に出てやりたいことや仕事がある人、取り組んでみたい課外活動や社会活動・ボランティア活動がある人

2. 大学で学ぶための基礎学力を有する人

学習の基盤となる国語、数学、外国語及び各学部学科が必要とする教科について一定基準以上の基礎学力（知識・理解）を有する人

3. 自分の能力を高めたい人

自ら考え（思考力）、決定し（判断力）、それを伝える（表現力・コミュニケーション力）能力を高め、自己を成長させることができる人

4. 主体性を持って多様な人と協同して学べる人

授業以外にも、生徒会活動、課外活動（スポーツ、文化など）及び社会活動（ボランティア、地域交流、国際交流など）に積極的に参加してきた人で、その経験を大学での学びに生かせる人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
生活科学部	生活科学部では、生活の中の身近な科学、すなわち、衣・食・住のいずれかに携わる職業人を輩出するという明確な方針に基づき、その教育目標を十分に理解し、それに相応しい基礎力を有する人を受け入れます。
生活科学部 管理栄養学科	管理栄養学科は、将来「食と健康」を基盤とする臨床福祉分野、食品産業分野、食育指導分野などの専門領域で活躍できる人を望んでいます。そのため、本学科では、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・「化学基礎」と「生物基礎」を含む基礎学力を有する人 <思考力・判断力・表現力> ・上記分野の仕事に管理栄養士として従事し、社会貢献したいという目的意識と勉強意欲を持つ人 ・「食と健康」分野に関心が高く、学んだ知識と技術を社会で実践し役に立つことを望む人 ・課題を見つけ、自分の考えを表現する事に努められる人 <主体性・協働性> ・人間性が豊かで向上心を持ち、自身の成長、周囲との和と協働に努められる人
生活科学部 生活環境デザイン学科	生活環境デザイン学科では、生活環境を構成するアパレルメディア、インテリア・プロダクト、建築・住居の各分野に関連した「ものづくり」について、作り手・使い手の両方の視点から科学的に探求し、それを具体的なデザインとして提案・実践する力を養成します。そのため、本学科では、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・本学科の専門領域を学習するための基礎学力を有する人 ・理系、文系を問わず、幅広く基礎学力を身に付けている人 <思考力・判断力・表現力> ・理系的能力、あるいは、コミュニケーション能力やデザインの表現力などに優れている人 <主体性・協働性> ・目的を有し、主体的かつ周りとの和もはかりながら、人としての成長を望む人
外国語学部	外国語学部は、地球市民であること（グローバル・シチズンシップ）を前提に人間の歴史をグローバルにとらえ、複数の言語（日本語を含む3言語）と複眼的視座によって、環境破壊、人権問題、宗教対立、紛争、高齢化、ジェンダーギャップなど、地球規模の課題について、優れた対話力と高い倫理観によって国際社会と地域社会へ貢献できる人間の育成を目的としています。したがって本学部では以上の目的を共有する学習意欲のある人を受け入れます。
外国語学部 英語英米学科	英語英米学科は、国際共通語としての英語及び他の外国語の実践的運用力を基に、英語圏の地域と文化並びにグローバル社会の理念や現状について広範な知識を有し、英語を用いた総合的判断力と思考力を活かしてグローバルな課題に取り組むとともに、新しい文化や価値の創造に寄与する能力を育成することを教育目標としています。英語英米学科では、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに次の能力関心を持った人を受け入れます。 <知識・技能> ・国際社会、国際情勢の諸問題について、基本的な知識を基に理解している人 ・英語及び外国語に深い意欲と関心を持ち、高校卒業程度の英語の知識と運用能力を持つ人 ・英語圏と世界の歴史・文化・社会について、高校卒業程度の知識を持つ人 <思考力・判断力・表現力> ・ことば一般と異文化に対する高い関心を有し、異なる背景を持った人々と対話するための論理的思考力を持つ人 <主体性・協働性> ・他者と協働し、自発的・主体的に問題を発見し、課題解決へ導き、新しい価値を創造することに関心がある人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
外国語学部 国際教養学科	国際教養学科は、英語に加えてフランス語、ドイツ語又は中国語の各外国語の実践的運用力を身につけ、ヨーロッパ、あるいは日本を含むアジアの各地域及びグローバル社会の理念や現状について広範な知識を有し、専門とする言語に基づいた総合的判断力と思考力を活かしてグローバルな課題に取り組むとともに新しい価値の創造に寄与する能力を育成することを教育目標としています。国際教養学科では、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに次の能力関心を持った人を受け入れます。 <知識・技能> ・国際社会、国際情勢の諸問題について、基本的な知識を基に理解している人 ・外国語に深い意欲と関心を持ち、高校卒業程度の英語（あるいはフランス語、ドイツ語又は中国語）の知識と運用能力を持つ人 ・ヨーロッパ、日本を含むアジアと世界の歴史・文化・社会について、高校卒業程度の知識を持つ人 <思考力・判断力・表現力> ・ことば一般と異文化に対する高い関心を有し、異なる背景を持った人々と対話するための論理的思考力を持つ人 <主体性・協働性> ・他者と協働し、自発的・主体的に問題を発見し、課題解決へ導き、新しい価値を創造することに関心がある人
人間関係学部	人間関係学部は、人間の多様性及び心理に関する専門の学術を学際的かつ総合的に教授研究します。本学部は、広範な知識、総合的な判断力及び深い洞察力を有し、人間と人間関係及び心理に関する諸問題を解明・解決することができる高度な人間関係力を備えた人材を養成します。 本学部では以上の目的を共有する強い学習意欲のある人を受け入れます。
人間関係学部 人間共生学科	人間共生学科では、多様な人々が共に生きる社会において、一人ひとりの能力が発揮できる社会の創造に貢献できる人材を養成します。したがって、本学科では次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・本学科の専門領域を学修するために必要な基礎学力を有する人 <思考力・判断力・表現力> ・人間の多様性や共生社会に強い関心を持ち、社会のさまざまな課題を発見し、課題の解決に向けて深く考える人 ・他者の考えを受容し、理解しようとする人 ・自らの考えを言葉で表現・記述する力を身につけようとする人 <主体性・協働性> ・自他の個性を認め、共感を持って他者と協働しながら、主体的に課題に取り組もうとする熱意がある人
人間関係学部 心理学科	心理学科では、人間と心理に関する諸問題を解決することができる人材を養成します。したがって、本学科では次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・本学科の専門領域を学修するために必要な基礎学力を有する人 <思考力・判断力・表現力> ・人間と心理に強い関心を持ち、身近な現象の中からそれらの課題を発見し、課題について論理的に考え、解決しようとする態度を持っている人 ・人間や心理を多面的・客観的に理解しようとする人 ・他者との違いを認めつつ、自分の意見を表現する力を持っている人 <主体性・協働性> ・他者と積極的にコミュニケーションを図り、他者と協働しながら、人間や心理に関する課題に主体的に取り組む姿勢を持っている人
情報社会学部	情報社会学部では、大学教育を受けるための基礎学力を有し、情報技術を通して、現代社会の課題解決と発展に貢献しようとする意欲を持つ、次のような人を受け入れます。
情報社会学部 情報デザイン学科	情報デザイン学科では、「データサイエンス」「コミュニケーションデザイン」「情報・アーカイブ」の3つの領域を学び、現代の情報社会への適応力を身につけ、さらに、データサイエンス、情報デザイン、デジタルアーカイブの知識と技術を活用して、現代の情報社会における様々な課題解決に必要な情報をデザインできる人材の養成を目的としています。情報に関わる様々な問題に関心を持ち、より良い社会を創るために多様な人々と協力しながら主体的に行動できる人を求めます。このための学修に必要なとなる学力を持った、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・文系科目、理系科目を問わず、高等学校の教育課程を幅広く学修し、基礎学力を持っている人 <思考力・判断力・表現力> ・現代社会に強く関心を持ち、そこで生じている様々な課題を発見することができる人 ・社会事象を論理的かつ多様な視点から評価し、課題解決のための方策を具現化しようとする人 ・自らの考えを文章で他者に表現できる力を持っている人 <主体性・協働性> ・多様な人々と主体的に協働して物事に取り組む姿勢を持っている人 ・自らの考えを他者に的確に説明できるコミュニケーション力を持っている人 ・情報に関わる専門知識と技術を社会に役立てようとする意欲を持っている人 ・課題解決や価値創造のため、地域社会と協働して、様々な社会活動や学習活動に積極的に取り組むことができる人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
情報社会学部 現代社会学科	現代社会学科では、「メディアスタディーズ」「観光・まちづくり」「持続可能な社会」の3つの領域を学び、地域社会を学びの場とするフィールドワークやプロジェクト型学習を柱とした学修で得た知識と技術を活用して、現代社会の発展に貢献できる人材の養成を目的としています。私たちが暮らす社会の様々な課題に関心を持ち、より良い社会を創るために多様な人々と協力しながら主体的に行動することができる人を求めます。このための学修に必要な学力を持った、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・現代社会に生じている様々な課題を学ぶための基礎学力を持っている人 ・現代社会における課題の理解に必要な基礎的知識と、自らの考えを自らの言葉で他者に説明することができる、文章力やコミュニケーション力を持っている人 <思考力・判断力・表現力> ・現代社会に強く関心を持ち、そこで生じている様々な課題を発見することができる人 ・社会事象を論理的かつ多様な視点から捉えて評価し、課題解決のための方策を具現化しようとする人 <主体性・協働性> ・現代社会における課題解決のために主体的に取り組み、多様な人々と協働しながら、自分の能力を発揮しようとする人 ・課外活動、ボランティア活動、社会貢献活動など、自身が関心を持つ課題に積極的に取り組もうとする人
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	現代マネジメント学部では、現代社会における様々な事象に関心を持ち、社会科学（経営・経済・法律・政治）に関する専門知識を修得し、将来、「企業経営」「公共政策」のいずれかの分野においてマネジメント能力を活用できるような職業に就きたいと考えている人を受け入れます。 本学部が考えるマネジメント力とは、企業の経営に限ったものではなく、地方自治体や地域社会等で発生する問題を解決する能力も含まれます。そのため、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・社会科学に関する教科（「地理・歴史」「公民」）はもちろんのこと、コミュニケーションをとるための「国語」「外国語（英語）」、データを分析・処理するための「数学」「情報」の基礎学力を有する人 <思考力・判断力・表現力> ・好奇心旺盛で、何事にも全力で取り組む人 ・どんな問題に対しても自分の意見を持ち、表現できる人 ・社会問題に関心があり、問題解決のための行動を起こせる人 <主体性・協働性> ・自らと異なる様々な意見にも耳を傾け、建設的なコミュニケーションを取ることができる人
教育学部 子ども発達学科	教育学部は、教員・保育者として社会に貢献でき、また、生涯にわたって学び、成長し続けられる人材を育てることを目的としています。本学部ではこの目的を理解する、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・本学部での学びの基礎となる、教育における諸課題について基本的な知識・技能を身につけている人 ・国語、数学、音楽の中学校・高校の免許取得を希望する人は、高等学校までにおける該当教科の内容について十分な知識・技能を身につけていること <思考力・判断力・表現力> ・学修により得た知識・技能を生かした思考力・判断力・表現力を身につけている人 ・国語、数学、音楽の中学校・高校の免許取得を希望する人は、各教科の内容を深く探究し表現しようとする意欲を持っていること <主体性・協働性> ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人
看護学部 看護学科	看護学部では、豊かな人間性と確かな実践力を有する看護職者を育成することを目指します。看護職者は、多様な対象者の幅広いニーズに応え、適切な支援を行う専門職です。そのため、次のような人を受け入れます。 <知識・技能> ・コミュニケーション能力の基本となる「国語」「英語」の基礎学力を有している人 ・論理的思考力の育成及び医学的基礎を理解する「数学」「理科」の基礎学力を有している人 <思考力・判断力・表現力> ・人間に対する積極的な関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある人 <主体性・協働性> ・周囲と協調することができ、コミュニケーション能力を有する人 ・自己研鑽を続けることができる人

学力の3要素を身に付けているかの判定方法について

学部・学科名	入試区分	学力の3要素を身に付けているかの判定方法
生活科学部 管理栄養学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類により、高等学校での活動状況と、そこで学んだ知識・技能を判定し、学力試験により、国語、数学、外国語（英語）から受験生が選んだ2教科の基礎的な知識・技能を評価する。また、併願の場合は、面接により、食と健康への関心、大学での学びに対する意欲、将来の展望などを質問し、思考力と主体性、協調性などを総合的に評価する。
生活科学部 生活環境デザイン学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類及び筆記試験により、基礎的な知識、思考力及び表現力を身に付けているかを総合的に判定する。専願制については、個人面接により主体性・多様性・協調性を判定する。 試験科目：国語、外国語（英語）、数学から2科目選択
	公募制推薦入試Ⅰ期 (表現力型)	出願書類により、これまでの活動及び基礎的な知識・技能を判定する。プレゼンテーションでは、思考力及び表現力を評価し、個人面接によって主体性・多様性・協調性ならびに生活環境デザインに対する興味関心、本学科との適合性を判定する。
外国語学部 英語英米学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類と試験の合計の成績により判定する。出願書類は学習成績の平均点を5倍して採点する。試験では外国語（英語）を必須とし、さらに国語・数学のうち1科目を選択する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類とプレゼンテーション・面接の合計の成績により判定する。出願書類は学習成績の平均点を5倍し、さらに高校時代の特別な活動や資格があればそれを点数化し加算する。プレゼンテーションでは表現力、協調性などを総合的に評価する。プレゼンテーション後に志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価する。
外国語学部 国際教養学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類と試験の合計の成績により判定する。出願書類は学習成績の平均点を5倍して採点する。試験では外国語（英語）を必須とし、さらに国語・数学のうち1科目を選択する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類とプレゼンテーション・面接の合計の成績により判定する。出願書類は学習成績の平均点を5倍し、さらに高校時代の特別な活動や資格があればそれを点数化し加算する。プレゼンテーションでは表現力、協調性などを総合的に評価する。プレゼンテーション後に志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価する。
人間関係学部 人間共生学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類により高校での学修状況を加味し、本学で実施する個別試験の国語、数学、外国語（英語）のうち、2教科2科目において、本学科での学修に必要な基礎的な知識・技能を身に付けているかを中心に判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類により、本学科での学修に必要な基礎的な知識・技能および学びへの理解について総合的に判定し、プレゼンテーションにより思考力・判断力・表現力を、面接により主体性・多様性・協調性を総合的に判定する。
人間関係学部 心理学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類により高校での学修状況を加味し、本学で実施する個別試験の国語、数学、外国語（英語）のうち、2教科2科目において、本学科での学修に必要な基礎的な知識・技能を身に付けているかを中心に判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類により、本学科での学修に必要な基礎的な知識・技能および学びへの理解について総合的に判定し、プレゼンテーションにより思考力・判断力・表現力を、面接により主体性・多様性・協調性を総合的に判定する。
情報社会学部 情報デザイン学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	筆記試験により「知識・技能」について、幅広く基礎的な知識を身に付けているかを評価する。調査書による書類審査を行い「知識・技能」を評価する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類により、「知識・技能」を評価する。プレゼンテーションで「思考力・判断力・表現力」を中心に、面接では「主体性・協調性」について評価する。
情報社会学部 現代社会学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	筆記試験により「知識・技能」について、幅広く基礎的な知識を身に付けているかを評価する。調査書による書類審査を行い「知識・技能」を評価する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類により、「知識・技能」を評価する。プレゼンテーションで「思考力・判断力・表現力」を中心に、面接では「主体性・協調性」について評価する。

学部・学科名	入試区分	学力の3要素を身に付けているかの判定方法
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	筆記試験（国語、外国語（英語）、数学から選択した2科目の試験）と出願書類により、基礎的な知識・技能を身に付けているかを判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期/Ⅱ期 (表現力型)	出願書類により、基礎的な知識・技能を身に付けているかに加え、小論文試験により、思考力・判断力・表現力を中心に判定する。面接により、思考力・判断力・表現力および主体性・多様性・協調性を中心に判定する。
教育学部 子ども発達学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	出願書類の調査書と、国語、数学、外国語（英語）の学科適性試験のうち選択した2教科の得点から、知識・技能を中心に判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期 (保育者養成型・学校教員養成型)	出願書類の調査書と国語、数学、外国語（英語）の学科適性試験のうち選択した2教科の得点から、知識・技能を評価する。集団面接では、これまでの経験や学修をもとにした知識・技能と、思考力・判断力・表現力および主体性・多様性・協調性、保育・学校教育への関心と学びに向かう力を総合的に評価し判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期 (国語教員養成型)	出願書類の調査書と学科適性試験の国語の得点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価する。面接では国語教育を学ぶ上で必要な知識・技能と思考力・表現力を中心に、今後の学びに向かう力を総合的に評価し判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期 (数学教員養成型)	出願書類の調査書と、学科適性試験の数学の得点から、知識・技能と思考力・判断力・表現力を評価する。面接では数学教育を学ぶ上で必要な知識・技能と思考力・表現力を中心に、今後の学びに向かう力を総合的に評価し判定する。
	公募制推薦入試Ⅰ期 (音楽教員養成型)	出願書類の調査書と、国語、数学、外国語（英語）の学科適性試験のうち選択した1教科の得点から、知識・技能を評価する。実技では、音楽の知識・技能及び表現力を、面接では音楽教育を学ぶ上で必要な知識・技能を中心に、今後の学びに向かう力を総合的に評価し判定する。
看護学部 看護学科	公募制推薦入試Ⅰ期 (教科型)	(1) 専願制 筆記試験により、外国語（英語）に加え、国語または数学の基礎的な知識・技能を判断する。 面接により、看護職者になる意欲を確認するとともに、思考力・判断力や主体性・協働性および自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を判定する。 (2) 併願制 出願書類（調査書）を用いて高等学校等における学習への取り組み状況を調査し、コミュニケーション能力、論理的思考力、医学的基礎を理解するための基礎的な知識・技能を総合的に判断する。併せて、筆記試験により、外国語（英語）に加え、国語または数学の基礎的な知識・技能を判断する。 面接により、看護職者になる意欲を確認するとともに、思考力・判断力や主体性・協働性および自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を判定する。

Web 出願の流れ

1. 事前準備

- ☐ パソコン環境の準備
- ☐ プリンターの準備
- ☐ メールアドレスの準備
- ☐ 証明写真（顔写真）データの準備
- ☐ 角形2号封筒の準備
- ☐ 出願書類の準備



2. マイページの作成

Web出願サイト

2025年6月16日(月)10:00から公開予定

- ☐ メールアドレスの登録
- ☐ 個人情報の登録
- ☐ 証明写真（顔写真）の登録



3. 出願登録

Web出願サイト

※入試区分ごとに出願開始日9:00から公開予定

- ☐ 入試区分、出願専攻科の登録



4. Web志願票の印刷

Web出願サイト

- ☐ Web志願票の印刷
- ☐ 出願封筒用宛名の印刷



5. 入学検定料の支払い

Web出願サイト

- ☐ 入学検定料の支払い

※この段階では、出願はまだ完了していません



6. 出願書類の郵送

- ☐ 出願書類・封筒をそろえる
- ☐ 郵便局窓口から「簡易書留・速達」で郵送



Web出願完了



7. 受験票の印刷

Web出願サイト

- ☐ Web 出願サイト（マイページ）から印刷する
- ※受験票は郵送されません
- ※試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください

1. 事前準備

1. パソコン環境の準備

Web出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要になります。
Web出願サイトのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

2. プリンターの準備

出願にあたっては、A4用紙で「Web 志願票」「志願理由書」「出願用封筒宛名」「受験票」などを受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストアのプリントサービス等、PDF ファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

3. メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認等は全てメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@sugiyama-u.ac.jp」を受信できるよう設定してください。また、1つのメールアドレスで複数人の利用はできません。受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

4. 証明写真（顔写真）データの準備

証明写真（顔写真）は試験当日の本人確認用として使用します。以下の条件を満たす顔写真データ（データ形式：JPEG、100KB 以上、5MB 以下）を準備してください。証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの）、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いません。

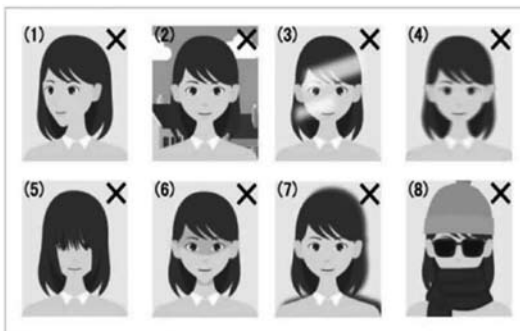
2026 年度入試において、既に Web 出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。入学後の学生証写真については、合格後の第2次入学手続（P.30）で登録する顔写真データで作成します。そこで登録した顔写真データは卒業まで使用します。

- ① 本人のみが写っていること
- ② 直近3か月以内に撮影したもの
- ③ カラー写真（白黒不可）、上半身・正面、無帽、背景なし（白／青／グレー）、枠なし
- ④ 私服

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1) 正面を向いていない
（顔が横向き等）
- (2) 無背景でない
（風景や柄が写っている）
- (3) 照明が反射している
（顔や眼鏡に光が反射して
いて一部が見えない）
- (4) 手振れやビントがぼけていて
不鮮明
- (5) 前髪が長すぎて目元が見えない
- (6) 顔に影がある
- (7) 背景に影が映っている
- (8) サングラスや帽子で輪郭が
隠れている

5. 角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒を準備してください。

6. 出願書類の準備

出願に必要な書類は入試区分により異なりますので、各入試区分の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成

下記URL（Web出願サイト）からマイページを作成してログインし、「2. 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真（顔写真）の登録を行ってください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-sugiyama/>



※入試情報ページからもアクセスできます。

3. 出願登録

4. Web 志願票の印刷

Web出願サイトからマイページにログインし、「3. 出願登録」を画面の案内に従って出願する入試区分、学科・専修等を選択してください。出願登録完了後、「4. Web志願票」を印刷し、登録されている出願内容に間違いがないか確認してください。

5. 入学検定料の支払い

入学検定料のお支払いサイトへ移動後、下記からお支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。支払いの際に発行される領収書（レシート）、受領書またはご利用明細書は、出願書類として提出する必要はありません。大切に保管してください。

梶大エール割(入学検定料の割引)

初回検定料のみ30,000円（以降+5,000円）

公募制推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期のうち、1出願目のみ30,000円、2出願目以降は入試区分が変わっても1出願あたり5,000円となります。

〈クレジットカード〉

カードの名義は、受験者本人でなくても構いません。

出願登録後に別画面で「クレジットカード」支払を選択し、決済を完了してください。

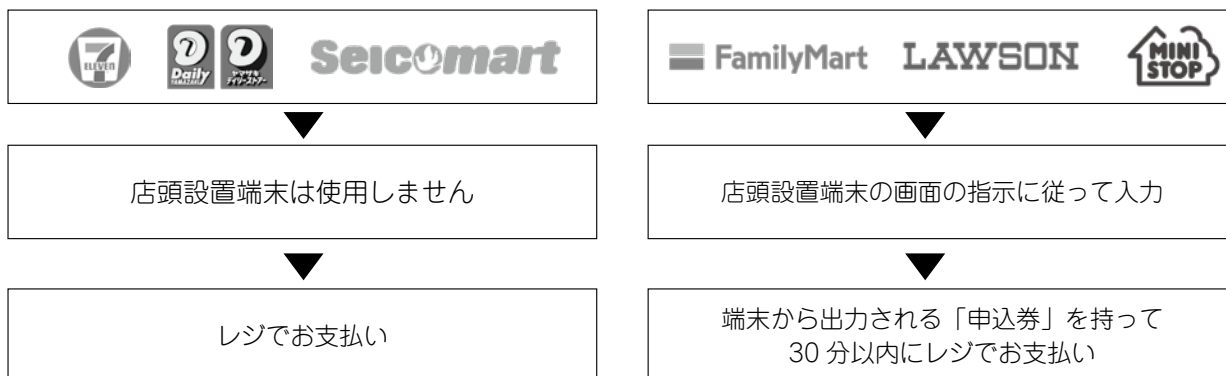
※使用できるクレジットカードは「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」のいずれかです。



〈コンビニエンスストア〉

支払いに必要なお支払い情報を取得後、印刷した「払込票」または各種番号の控えを持参し、以下のコンビニエンスストアで入学検定料を支払います。お支払い情報は、支払いをする際に必要となりますので、必ずメモをとるか印刷してください。

※お支払いは現金のみです。



レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認のうえ、支払ってください。

〈銀行ATM（Pay-easy）〉〈ネットバンキング〉



銀行ATMによる支払いは、Pay-easy（ペイジー）に対応した銀行のみで可能です。
ゆうちょ銀行ATM、ペイジー対応銀行のATMおよびネットバンキングがご利用いただけます。

※窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されているATMは利用できません。

注意

- ・お支払い期限（Webで登録を行った翌日の23：59まで^{*}）を過ぎた場合、入力情報は無効となります。再度出願登録を行ってください。 **※出願期間締切日は17：00まで**
- ・入学検定料の他に支払手数料（990円）が必要となります。
- ・複数回出願登録をする場合は、支払手数料が各回それぞれに必要となります。
- ・いったん納入された入学検定料は、返還しません。

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「出願用封筒宛名」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「簡易書留・速達」で出願期間内に郵送してください。

注意

- ・出願後（入学検定料納入後）入試区分、入試日、志望学科・専修、科目等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- ・いったん提出された出願書類は、返還しません。
- ・郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票の印刷

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より受験票（PDF）を印刷してください。**受験票の郵送はしません。**

<https://exam-entry.52school.com/sugiyama-u/my>

※入試情報ページからもアクセスできます。

<受験票の発行開始日>

入試区分	発行開始日	
公募制推薦入試Ⅰ期	2025年11月12日（水）10:00	受験票（要印刷）
公募制推薦入試Ⅱ期	2025年12月10日（水）10:00	受験票（要印刷）

※受験票は2026年3月31日（火）までの公開です。

【受験票】

- （1）受験票の記載内容を確認し、A4サイズ用の紙に印刷のうえ、**試験当日に必ず持参してください。**
- （2）受験票には裏面も含め、一切の書き込みを禁止します。

【注意】

- **出願後（入学検定料納入後）入試区分、入試日、志望学科・専修、科目等の変更は、いかなる理由があっても認めません。**

〈受験票サンプル〉

個人情報保護

出願にあたりご提供いただいた個人情報は、「入試の実施に必要な事務処理」、「本人への問い合わせ」、「入試の合否判定」および「合格発表の通知」ならびに「調査統計」などに利用します。

なお、合格者の個人情報については、入学後の「学籍関連情報」の一部として利用します。また、個人情報の取扱いについては、法令および本学規程等に従い適切に対応いたします。

詳しくは次の URL を参照してください。<https://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen/privacy/>

出身高等学校への入試結果通知

本学では志願者の出身高等学校に対し、入試結果を通知しています。

各高等学校には、個人情報保護への対応としてデータの取扱いについて守秘をお願いし、利用の目的を「進路指導上の資料」に限定したうえで情報を提供しています。この取扱いに承諾しない場合は、出願の際に申請してください。

1

公募制推薦入試Ⅰ期

- 専願制** 椋山女学園大学を第1志望とし、合格後必ず入学することを前提とした入試制度
- 併願制** 他の入試へ志願することも可能な入試制度。本入試に合格した後、所定の手続期間内に手続がない場合、入学の意志がないものとみなします。

1. 募集人員

学 部 ・ 学 科 ・ 専 修			募 集 人 員							
			教科型		表現力型	保育者 養成型	学校教員 養成型	国語教員 養成型	数学教員 養成型	音楽教員 養成型
			併願	専願	併願	専願	専願	併願	併願	併願
生活科学部	管 理 栄 養 学 科		1名	6名	—	—	—	—	—	—
	生 活 環 境 デ ザ イ ン 学 科		4名	4名	4名	—	—	—	—	—
外国語学部	英 語 英 米 学 科		5名	—	4名	—	—	—	—	—
	国 際 教 養 学 科		5名	—	3名	—	—	—	—	—
人間関係学部	人 間 共 生 学 科		3名	—	4名	—	—	—	—	—
	心 理 学 科		3名	—	4名	—	—	—	—	—
情報社会学部	情 報 デ ザ イ ン 学 科		4名	—	3名	—	—	—	—	—
	現 代 社 会 学 科		5名	—	3名	—	—	—	—	—
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科		8名	—	8名	—	—	—	—	—
教育学部	子 ども	保育・初等教育専修	2名	—	—	3名	—	—	—	—
	発達学科	初等中等教育専修	3名	—	—	—	2名	1名	1名	2名
看護学部	看 護 学 科		4名	5名	—	—	—	—	—	—

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願資格

教科型・表現力型共通

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、出身の学校長が推薦し、第3学年1学期（2学期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が各学科の定める基準を満たす者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
- (3) 専願制の場合は、本学を第1希望とし、合格した場合必ず入学する者

【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします(外国の学校)。

公募制推薦入試Ⅰ期(教科型) 学科別の推薦基準

- 生活科学部 管理栄養学科 専願制：3.4以上、併願制：学習成績の状況による推薦基準なし
- 看護学部 看護学科 専願制：3.5以上、併願制：学習成績の状況による推薦基準なし
- その他の学部・学科※ 併願制：学習成績の状況による推薦基準なし

※その他の学部・学科は、生活科学部(生活環境デザイン学科)、外国語学部(英語英米学科、国際教養学科)、人間関係学部(人間共生学科、心理学科)、情報社会学部(情報デザイン学科、現代社会学科)、現代マネジメント学部(現代マネジメント学科)、教育学部(子ども発達学科保育・初等教育専修、子ども発達学科初等中等教育専修)になります。その他の学部・学科は併願制のみ実施します。

公募制推薦入試Ⅰ期(表現力型) 学科別の推薦基準

- 生活科学部(生活環境デザイン学科) 3.0以上
- 外国語学部(英語英米学科・国際教養学科)
次の①、②、③のいずれかの基準を満たす者
 - ①第3学年1学期(2期制の場合は前期)までの全体の学習成績の状況が3.0以上の者
 - ②外国語(英語)の教科の学習成績の状況が3.5以上の者
 - ③実用英語技能検定(英検)準2級以上、GTEC CBT 700点以上、GTEC 検定版 675点以上、TOEIC®L&R 385点以上、TOEIC Bridge®L&R 64点以上、TOEIC Bridge®S&W 71点以上、TOEFL iBT®L&R 42点以上、IELTS 3.0以上、TEAP 135点以上、ケンブリッジ英語検定A2Key / A2Key for Schools 120点以上の者
- 人間関係学部(人間共生学科・心理学科) 3.0以上
または「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語(英語)」のいずれかの教科の学習成績の状況が3.5以上の者
- 情報社会学部(情報デザイン学科・現代社会学科) 3.2以上
- 現代マネジメント学部(現代マネジメント学科) 3.2以上

公募制推薦入試Ⅰ期(保育者養成型・学校教員養成型)

- 次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。
- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
- 【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします(外国の学校)。
- いずれも学習成績の状況による推薦基準なし

公募制推薦入試Ⅰ期(国語教員養成型・数学教員養成型)

- 次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。
- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月以降卒業した者または2026年3月卒業見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
- 【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします(外国の学校)。
- いずれも学習成績の状況による推薦基準なし

公募制推薦入試Ⅰ期(音楽教員養成型)

- 次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。
- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月以降卒業した者または2026年3月卒業見込みの者で、卒業した者は3年間の、卒業見込みの者は第3学年1学期(2学期制の場合は前期)までの全体の学習成績の状況が3.3以上の者で、出身の学校長が推薦する者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
- 【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします(外国の学校)。

<受験上に配慮が必要な場合の出願について>

出願を希望する方は、2025年10月17日(金)までに入学センターへご連絡ください。受験における配慮申請を行う場合は、医師の診断書等が必要となります。また、期日後の申し出については、受験上の配慮ができない場合があります。

入試相談フリーダイヤル Tel.0120-244-887

平日 9:00～17:00(土・日・祝日は電話受付をしておりません)

3. 入試日程・入学検定料・試験場

出 願 期 間	郵 送 2025年11月1日(土)～11月7日(金) 締切日消印有効 窓口受付 2025年11月7日(金)のみ 9時～17時 入学センター ※Web出願のデータ入力締切 2025年11月7日(金) 17時まで
入 学 検 定 料	30,000円(P.8 樫大エール割参照)
受 験 票 の 取 得	2025年11月12日(水) 10:00～(P.10参照)
試 験 日 お よ び 試 験 時 間 ※1※2	【第1日程 2025年11月22日(土)】 教科型、保育者養成型、学校教員養成型、国語教員養成型、数学教員養成型:10:00～(9:40入室完了) 表現力型:13:30～(13:10入室完了) 【第2日程 2025年11月23日(日)】 教科型、音楽教員養成型:10:00～(9:40入室完了) 表現力型:13:30～(13:10入室完了)
試 験 場	星が丘キャンパス
合 格 発 表 P.29参照	2025年12月1日(月) 10:00

入 学 手 続 P.30参照	第1次入学手続 (入学金)		200,000円 納付期限 2025年12月5日(金) 15時まで マイページ内入学手続(納付金手続)で支払い	
	第2次入学 手続 (書類提出)	専願	郵 送 2026年2月26日(木)～3月5日(木) 締切日消印有効 窓口受付 2026年3月6日(金)のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2026年3月5日(木) 17時まで	
		併願	郵 送 2026年3月12日(水)～3月24日(火) 締切日消印有効 窓口受付 2026年3月25日(水)のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2026年3月24日(火) 17時まで	

※1 学部・学科・専修に定められた「出題科目」および「科目選択の方法」に従い、Ⅰ期(教科型・保育者養成型・学校教員養成型)は試験時間内に2教科2科目を、Ⅰ期(国語教員養成型・数学教員養成型・音楽教員養成型)は試験時間内に1教科1科目を選択し、解答してください。

※2 Ⅰ期(教科型・保育者養成型・学校教員養成型)については、試験時間内の解答時間配分は自由です。

4. 出願書類

以下の書類を簡易書留速達郵便または持参にて提出してください。

簡易書留速達郵便以外(差出記録がない場合)での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続は認めません。

出願書類	教科型	表現力型	保育者 養成型	学校教員 養成型	国語教員 養成型	数学教員 養成型	音楽教員 養成型	様 式	注意事項
① Web 志 願 票	○	○	○	○	○	○	○	Web出願サイト よりカラー印刷	A4サイズ 縦1枚に印刷してく ださい。
② 学校長の推薦書	○	◎ ※1	○	○	○	○	○	本学の所定用紙 Web出願サイトま たは入試情報ペー ジより印刷のう え、提出してくだ さい	A4サイズ 高等学校長の推薦印 を押印したもの
③ 調 査 書	○	○	○	○	○	○	○	出身学校の所定 用紙	厳封のまま提出して ください。出願前3 か月以内に発行の もの、1回の出願につ き1通必要です。
④ 志 願 理 由 書	◎ ※2	○	○	○	○	○	○	本学の所定用紙 Web出願サイト または入試情報 ページより印刷 のうえ、提出してく ださい	A4サイズ 黒のボールペンまた は黒インク(消せる ボールペン不可)で、 自筆(手書き)のみ可。
⑤ 音楽活動歴書	×	×	×	×	×	×	○	本学の所定用紙 Web出願サイトま たは入試情報ペー ジより印刷のう え、提出してくだ さい	A4サイズ 客観的資料(パンフ レットや賞状)があ ればそのコピーを添 付してください。
⑥ 楽譜のコピー	×	×	×	×	×	×	○	任 意 の 様 式	すべての楽譜コピー (コンコーネを含む) を提出してください。
⑦ 資格認定書類の コピー	×	◎ ※3	×	×	×	×	×	任 意 の 様 式	書類はコピー(A4 サイズ)を提出して ください。

※1 表現力型の推薦書は他の入試区分と様式が異なります。推薦理由の記入が必要です。

※2 教科型においては面接試験のある管理栄養学科(併願制)、生活環境デザイン学科(専願制)、看護学科(専願制・併願制)のみ必要です。

※3 外国語学部において、推薦基準③に掲載されている資格取得をもって出願する場合は、証明する書類を提出してください。

5. 選抜方法

I 期（教科型）

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示をしています。

【生活科学部管理栄養学科（専願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。 ※学習成績の状況の化学基礎、生物基礎、化学、 生物、理数化学、理数生物の1科目が4.0以上の 部分は加点評価の対象とします。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」(リスニングを課さない)		100点						

【生活科学部管理栄養学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。 ※学習成績の状況の化学基礎、生物基礎、化学、 生物、理数化学、理数生物の1科目が4.0以上の 部分は加点評価の対象とします。	—	—	25点	250点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						
面 接	志願理由書を基に個人面接（5分から10分程度） を行い、食と健康への関心、大学での学びに対 する意欲、将来の展望などを評価します。	—	—	25点		◎	◎	13:00～随時終了	

【生活科学部生活環境デザイン学科（専願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	300点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						
面 接	個人面接：学科への理解度や将来の目的や意識、ものづくりへの関心について個人面接（10分）を実施し、評価します。	—	—	80点		○	◎	13:30～随時終了	

【生活科学部生活環境デザイン学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	220点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）」		100点						

【外国語学部英語英米学科・国際教養学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2 教科200点		満点	学力の 3 要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	1 教科 1 科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学 A (図形の性質・場合の数と確率)」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」(リスニングを課さない)	必須	100点						

【人間関係学部人間共生学科・心理学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						

【情報社会学部情報デザイン学科・現代社会学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						

【現代マネジメント学部現代マネジメント学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00~12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						

【教育学部子ども発達学科保育・初等教育専修・初等中等教育専修（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	225点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択	100点	200点		◎			10:00~12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						

【看護学部看護学科（専願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2 教科 200 点		満点	学力の 3 要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
国 語	「現代の国語」「論理国語」	1 教科 1 科目を 選択	100 点	200 点	250 点	◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学 A（図形の性質・場合の数と確率）」		100 点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）	必須	100 点						
面 接	個人面接（10分程度）を実施します。	—	—	50 点		△	◎	◎	13:30～随時終了

【看護学部看護学科（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2 教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	25点	275点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	1教科1科目を 選択	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」(リスニングを課さない)	必須	100点						
面 接	個人面接(10分程度)を実施します。	—	—	50点		△	◎	◎	13:30～随時終了

【出題科目・範囲】

教 科	出題科目・範囲
国 語	「現代の国語」「論理国語」
数 学	「数学Ⅰ・数学 A（図形の性質・場合の数と確率）」
外国語(英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）

- ・解答は全学部マークシート方式で行います。
- ・解答科目は当日試験場において選択してください。
- ・科目間の問題難易度の差による有利不利をなくすため得点調整を行います（P.21）。

I 期（表現力型）

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示をしています。

【生活科学部生活環境デザイン学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	10点	100点	◎		○	出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	10点		◎	△	○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（5分程度）	40点		△	◎		面接の最初に自己アピールのプレゼンテーション(5分)をします。資料（デザイン作品、特筆すべき活動、実績、資格など）の持ち込みは可とします。なお、タブレットの持ち込みは可能です。	13:30～随時終了
面接	40点		△	○	◎	志願理由書に基づき、学科への理解度や将来の目的や意識、ものづくりへの関心について個人面接（10分）を実施し、評価します。	

【外国語学部英語英米学科・国際教養学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎		○	出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		◎		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（5分程度）	100点		△	◎	◎	国際社会について関心をもっていることについて5分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含め、表現力、協調性などを総合的に評価します。配布資料を準備してください。 発表にパワーポイントを使用する場合、ノートパソコンや変換アダプタなど必要な機材を、当日、各自で持参してください。プレゼンテーション画面を外部出力するTVモニター、HDMI接続ケーブルのみ本学で準備します。	13:30～随時終了
面接（10分程度）	50点		○	◎		プレゼンテーションに関する質疑応答後、志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価します。	

【人間関係学部人間共生学科・心理学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		○	○	○	志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション	100点		○	◎		あなたがこれまで力を入れて活動してきたことについて10分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含め、課題解決における表現力などを総合的に評価します。配布資料を準備してください。発表にパワーポイントを使用する場合、ノートパソコンや変換アダプタなど必要な機材を、当日、各自で持参してください。プレゼンテーション画面を外部出力するTVモニター、HDMI接続ケーブルのみ本学で準備します。	13:30～随時終了
面接	50点		△	◎	◎	プレゼンテーションに関する質疑応答後、志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い(20分程度)、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価します。	

【情報社会学部情報デザイン学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価する。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		△		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（10分程度）	100点		○	◎		【プレゼンテーションテーマ】 情報デザイン学科が提供する学び（データサイエンス、コミュニケーションデザイン、情報・アーカイブ）の中から、事前にお知らせする課題*についてプレゼンテーション（10分程度）を行います。 ※出願した方に11月7日（金）17時以降、マイページ上でお知らせします。 【プレゼンテーションの方法】 PC、パネル、配布資料等、原則自由です。 【プレゼンテーションで使用可能な機器および準備など】 PCやタブレット等を利用する場合は各自準備してください。ただし、外部ディスプレイは使用できません。 プレゼンテーションの評価は、情報技術や現代社会の課題解決と発展への意欲と学科の学びとの関連について評価します。	13:30～随時終了
面接（15分程度）	50点		△	◎	◎	学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。	

【情報社会学部現代社会学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		△		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（10分程度）	100点		○	◎		【プレゼンテーションテーマ】 現代社会における課題について言及しつつ、現代社会学科が提供する学び（メディアスタディーズ、観光・まちづくり、持続可能な社会）の中から、興味・関心のある事柄について自由にテーマを設定してプレゼンテーション（10分程度）を行います。 【プレゼンテーションの方法】 PC、パネル、配布資料等、原則自由です。 【プレゼンテーションで使用可能な機器および準備など】 PCやタブレット等を利用する場合は各自準備してください。ただし、外部ディスプレイは使用できません。 プレゼンテーションの評価は、情報技術や現代社会の課題解決と発展への意欲と学科の学びとの関連について評価します。	13:30～随時終了
面接（15分程度）	50点		△	◎	◎	学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。	

【現代マネジメント学部現代マネジメント学科（併願制）】

出題科目・評価方法	配点	満点	学力の3要素			備考 評価方法の概要	試験時間 (13:10入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎		○	出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		◎		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
小論文	100点		○	◎		問題で示された現代社会に関する新聞記事・コラム・データ等について、自らの分析・見解、考え方、主張などを論述してもらい、その問題意識、分析内容、論理性等について総合的に評価します。	13:30～14:30
面接	50点		△	◎	◎	志願理由、将来展望、本学科の教育内容に対する理解、本学科での学習に対する意欲や態度を総合的に評価します。	15:00～随時終了

I 期（保育者養成型・学校教員養成型・国語教員養成型・数学教員養成型・音楽教員養成型） ※教育学部のみ

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を ◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示をしています。

【I 期（保育者養成型）（専願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2 教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	250点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択 公募制Ⅰ期 (教科型)と 同じ問題を使 用	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）」		100点						
集団面接	保育への関心・探究心・意欲、高校までの活動および人物を総合的に評価します。（1グループ30分程度）	—	—	30点	◎	◎	◎	13:00～随時終了	

【I 期（学校教員養成型）（専願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点 ※ 2 教科200点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	250点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	2教科2科目を 選択 公募制Ⅰ期 (教科型)と 同じ問題を使 用	100点	200点		◎			10:00～12:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
集団面接	学校教育への関心・探究心・意欲、高校までの活動および人物を総合的に評価します。（1グループ30分程度）	—	—	30点		◎	◎	◎	13:00～随時終了

【I 期（国語教員養成型）（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	200点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	1教科1科目 を選択 公募制 I 期 (教科型)と 同じ問題を使 用	100点	100点		◎	◎		10:00～11:00
個人面接	個人面接を実施します（15分～20分）。面接内で国語の専門知識を問います。具体的には、興味のある国語の分野を説明できる力、高等学校までに学ぶ国語の基本的な用語・概念を説明できる力を評価します。	—	—	80点		◎	◎	○	11:30～随時終了

【Ⅰ期（数学教員養成型）（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	200点	◎			—
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」	1教科1科目 を選択 公募制Ⅰ期 (教科型)と 同じ問題 を使用	100点	100点		◎	◎		10:00～11:00
個人面接	個人面接を実施します（15分～20分）。面接 内で数学の専門知識を問います。具体的には、 興味のある数学の分野を説明できる力、高等学 校までに学ぶ数学の基本的な用語・概念を説明 できる力を評価します。	—	—	80点		◎	◎	○	11:30～随時終了

【Ⅰ期（音楽教員養成型）（併願制）】

教 科	出題科目・評価方法	科目選択の方法	配 点		満点	学力の3要素			試験時間 (9:40入室完了)
						知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性	
出願書類 (調査書)	出願書類(調査書)を基に、総合的に評価します。	—	—	20点	200点	◎			—
国 語	「現代の国語」「論理国語」	1教科1科目 を選択 公募制Ⅰ期 (教科型)と 同じ問題を 使用	100点	100点		◎			10:00～11:00
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」		100点						
外国語 (英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）		100点						
実技	出願時、志望理由書に当日演奏する曲目を記入し、すべての楽譜を送付すること。評価方法は、以下「音楽教員養成型（評価方法）」に記載のとおり。	—	—	50点		◎	○		11:30～随時終了
面接	一般面接、音楽的専門知識を問う面接 個人面接を実施します。学校教育への関心・探究心・意欲、高校までの活動および人物を総合的に評価します。また、音楽的専門知識を問う面接では、音程、音階、和音、楽語、音楽の一般知識の内容を問い、総合的に評価します。	—	—	30点		◎	◎	◎	

【出題科目・範囲】

教 科	出題科目・範囲
国 語	「現代の国語」「論理国語」
数 学	「数学Ⅰ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）」
外国語(英語)	「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ」（リスニングを課さない）

- ・解答は全学部マークシート方式で行います。
- ・解答科目は当日試験場において選択してください。
- ・科目間の問題難易度の差による有利不利をなくすため得点調整を行います（P.21）。

【音楽教員養成型（評価方法）】

●実技試験

次のABCの中から1つ選択し演奏すること。

選択コース		実技試験内容
A	ピアノ	① 5分以上の自由曲1曲（暗譜） ② 『コンコネ50番』より1曲（自分で伴奏しながら歌う）
B	声楽	① 声楽 2分以上の自由曲2曲（暗譜） ② ピアノ 自由曲1曲（ソナチネ以上）
C	弦楽器または管楽器	① 弦楽器または管楽器 5分以上の自由曲1曲（伴奏なし） ② ピアノ 自由曲1曲（ソナチネ以上）

※演奏はすべて繰り返しなし ※監督者の指示で、演奏を途中で打ち切ることもあります。

※出願時には、志望理由書に演奏曲目を記入してください。

※出願時にすべての楽譜を送付してください。

※C選択者は、楽器を持参してください。

6. 得点調整について（教科型・保育者養成型・学校教員養成型・国語教員養成型・数学教員養成型・音楽教員養成型）

国語、数学、外国語（英語）の科目間の問題難易度の差による有利不利をなくするため得点調整を行います。

〈中央値補正法について〉

「中央値補正法」とは、各科目の成績順で真ん中の順位の人の点数を50点に置き換え、他の人の点数を調整するものです。以下の表の例では、国語と数学で23.4点あった平均点の差が、得点調整を行うことで4.6点にまで縮まっています。100点と0点の人は、素点のままで、調整は行いません。

席次	素点			補正点	
	国語	数学		国語	数学
1	100.0	100.0	⇒	100.0	100.0
2	85.0	55.0		75.0	62.5
3	80.0	50.0		66.7	58.3
4	75.0	45.0		58.3	54.2
5	70.0	40.0		50.0	50.0
6	65.0	35.0		46.4	43.8
7	60.0	30.0		42.9	37.5
8	55.0	25.0		39.3	31.3
9	0.0	0.0		0.0	0.0
平均点	65.6	42.2		53.2	48.6

得点差23.4点

得点差4.6点

中央値補正法の計算式

① 素点 ≥ 中央値（真ん中の順位の点数）のとき

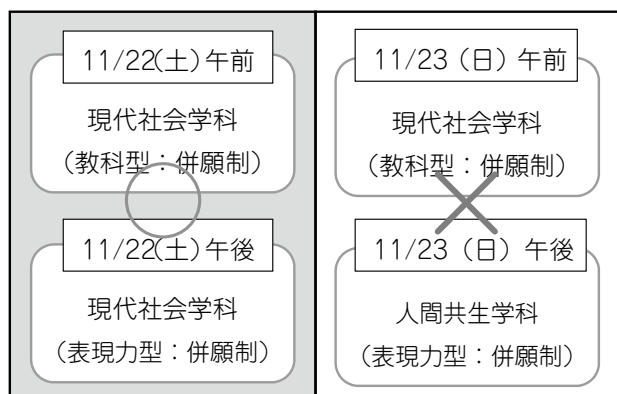
$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$$

② 素点 < 中央値（真ん中の順位の点数）のとき

$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

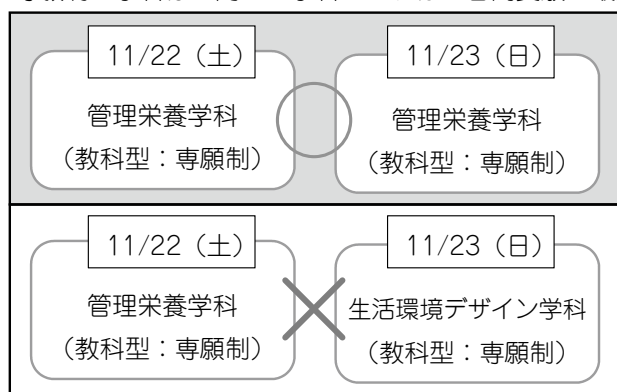
7. 学部学科の併願について

1. 同日試験日は1学科のみ受験可能

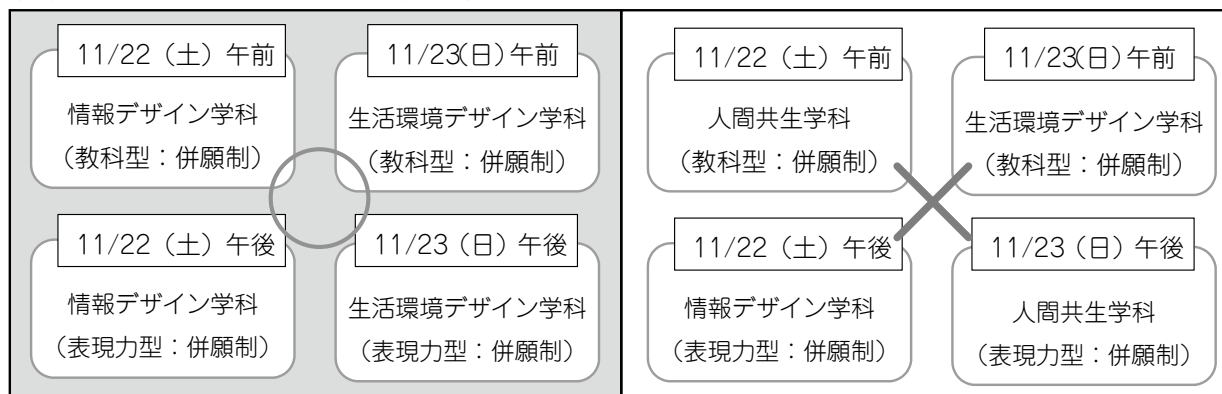


2. 専願制と併願制

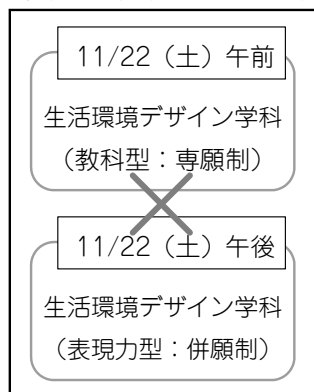
専願制の学科は、同一の学科であれば2日間受験、最大2出願が可能



併願制の学科は、2日間最大4出願が可能



専願制と併願制の同時出願はできない



2

公募制推薦入試Ⅱ期（表現力型）

1. 募集人員

学 部 ・ 学 科		募集人員
外 国 語 学 部	英 語 英 米 学 科	3 名
	国 際 教 養 学 科	2 名
人 間 関 係 学 部	人 間 共 生 学 科	3 名
	心 理 学 科	2 名
情 報 社 会 学 部	情 報 デ ザ イ ン 学 科	2 名
	現 代 社 会 学 科	3 名
現 代 マ ネ ジ メ ン ト 学 部	現 代 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	8 名

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、本学における勉学を強く希望する女子に限ります。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で、出身の学校長が推薦し、第3学年1学期（2学期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が各学科の定める基準を満たす者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者で、出身の学校長が推薦する者
- 【注】2学期制の場合は、3年生前期までの全体の学習成績の状況とします（外国の学校）。

公募制推薦入試Ⅱ期（表現力型） 学科別の推薦基準

●外国語学部（英語英米学科・国際教養学科）

次の①、②、③のいずれかの基準を満たす者

①第3学年1学期（2期制の場合は前期）までの全体の学習成績の状況が3.0以上の者

②外国語（英語）の教科の学習成績の状況が3.5以上の者

③実用英語技能検定（英検）準2級以上、GTEC CBT 700点以上、GTEC 検定版 675点以上、TOEIC®L&R 385点以上、TOEIC Bridge®L&R 64点以上、TOEIC Bridge®S&W 71点以上、TOEFL iBT®L&R 42点以上、IELTS 3.0以上、TEAP 135点以上、ケンブリッジ英語検定A2Key / A2Key for Schools 120点以上の者

●人間関係学部（人間共生学科・心理学科） 3.0以上

または「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語(英語)」のいずれかの教科の学習成績の状況が3.5以上の者

●情報社会学部（情報デザイン学科・現代社会学科） 3.2以上

●現代マネジメント学部（現代マネジメント学科） 3.2以上

<受験上に配慮が必要な場合の出願について>

出願を希望する方は、2025年11月14日(金)までに入学センターへご連絡ください。受験における配慮申請を行う場合は、医師の診断書等が必要となります。また、期日後の申し出については、受験上の配慮ができない場合があります。

入試相談フリーダイヤル Tel.0120-244-887

平日 9:00～17:00（土・日・祝日は電話受付をしておりません）

3. 入試日程・入学検定料・試験場

出 願 期 間	郵 送 2025年12月1日（月）～12月5日（金） 締切日消印有効 窓口受付 2025年12月5日（金）のみ 9時～17時 入学センター ※Web出願のデータ入力締切 2025年12月5日（金）17時まで	
入 学 検 定 料	30,000円（P.8 梶大エール割参照）	
受 験 票 の 取 得	2025年12月10日（水）10：00～（P.10参照）	
試 験 日	2025年12月13日（土）	
試 験 場	星が丘キャンパス	
合 格 発 表 P.29参照	2025年12月18日（木）10：00	
入 学 手 続 P.30参照	第1次入学手続 （入学金）	200,000円 納付期限 2026年1月6日（火）15時まで マイページ内入学手続（納付金手続）で支払い
	第2次入学手続 （書類提出）	郵 送 2026年3月12日（木）～3月24日（火） 締切日消印有効 窓口受付 2026年3月25日（水）のみ 9時～15時 入学センター ※第2次入学手続のデータ入力締切 2026年3月24日（火）17時まで

4. 出願書類

以下の書類を簡易書留速達郵便または持参にて提出してください。

簡易書留速達郵便以外（差出記録がない場合）での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続は認めません。

出願書類	様 式	注意事項
① Web 志 願 票	Web出願サイトよりカラー印刷	A4サイズ 縦1枚に印刷してください。
② 学校長の推薦書	本 学 の 所 定 用 紙 Web出願サイトまたは入試 情報ページより印刷のうえ、 提出してください	A4サイズ 高等学校長の推薦印を押印したもの
③ 調 査 書	出 身 学 校 の 所 定 用 紙	厳封のまま提出してください。出願前3か月以内に発行のもの、1回の出願につき1通必要です。
④ 志 願 理 由 書	本 学 の 所 定 用 紙 Web出願サイトまたは入試 情報ページより印刷のうえ、 提出してください	A4 サイズ 黒のボールペンまたは黒インク（消せるボールペン不可）で、 自筆（手書き）のみ可。
⑤ 資格認定書類の コピー※	任 意 の 様 式	書類はコピー（A4サイズ）を提出してください。

※外国語学部において、推薦基準③に掲載されている資格取得をもって出願する場合は、証明する書類を提出してください。

5. 選抜方法

各学科が指定する試験および出願書類によって選抜します。

入学試験における学力の3要素の関係を ◎：特に強く関連している。○：強く関連している。△：関連している。で表示をしています。

【外国語学部英語英米学科・国際教養学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎		○	出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		◎		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（5分程度）	100点		△	◎	◎	国際社会について関心をもっていることについて5分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含め、表現力、協調性などを総合的に評価します。配布資料を準備してください。 発表にパワーポイントを使用する場合、ノートパソコンや変換アダプタなど必要な機材を、当日、各自で持参してください。プレゼンテーション画面を外部出力するTVモニター、HDMI接続ケーブルのみ本学で準備します。	10:00～随時終了
面接（10分程度）	50点		○	◎		プレゼンテーションに関する質疑応答後、志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価します。	

【人間関係学部人間共生学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		○	○	○	志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション	50点		○	◎		あなたがこれまで力を入れて活動してきたことについて10分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含め、課題解決における表現力などを総合的に評価します。配布資料を準備してください。発表にパワーポイントを使用する場合、ノートパソコンや変換アダプタなど必要な機材を、当日、各自で持参してください。プレゼンテーション画面を外部出力するTVモニター、HDMI接続ケーブルのみ本学で準備します。	10:00～随時終了
面接	100点		△	◎	◎	プレゼンテーションに関する質疑応答後、志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い(20分程度)、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価します。	

【人間関係学部心理学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		○	○	○	志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（10分程度）	100点		○	◎		あなたがこれまで力を入れて活動してきたことについて10分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含め、課題解決における表現力などを総合的に評価します。配布資料を準備してください。発表にパワーポイントを使用する場合、ノートパソコンや変換アダプタなど必要な機材を、当日、各自で持参してください。プレゼンテーション画面を外部出力するTVモニター、HDMI接続ケーブルのみ本学で準備します。	10:00～随時終了
面接	50点		△	◎	◎	プレゼンテーションに関する質疑応答後、志望理由、学習に対する意欲、態度、将来のビジョン等に関する面接を行い(20分程度)、表現力・コミュニケーション能力などを総合的に評価します。	

【情報社会学部情報デザイン学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		△		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（10分程度）	100点		○	◎		【プレゼンテーションテーマ】 情報デザイン学科が提供する学び（データサイエンス、コミュニケーションデザイン、情報・アーカイブ）の中から、事前にお知らせする課題*についてプレゼンテーション（10分程度）を行います。 ※出願した方に12月5日（金）17時以降、マイページ上でお知らせします。 【プレゼンテーションの方法】 PC、パネル、配布資料等、原則自由です。 【プレゼンテーションで使用可能な機器および準備など】 PCやタブレット等を利用する場合は各自準備してください。ただし、外部ディスプレイは使用できません。 プレゼンテーションの評価は、情報技術や現代社会の課題解決と発展への意欲と学科の学びとの関連について評価します。	10:00～随時終了
面接（15分程度）	50点		△	◎	◎	学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。	

【情報社会学部現代社会学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎			出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		△		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
プレゼンテーション（10分程度）	100点		○	◎		【プレゼンテーションテーマ】 現代社会における課題について言及しつつ、現代社会学科が提供する学び（メディアスタディーズ、観光・まちづくり、持続可能な社会）の中から、興味・関心のある事柄について自由にテーマを設定してプレゼンテーション（10分程度）を行います。 【プレゼンテーションの方法】 PC、パネル、配布資料等、原則自由です。 【プレゼンテーションで使用可能な機器および準備など】 PCやタブレット等を利用する場合は各自準備してください。ただし、外部ディスプレイは使用できません。 プレゼンテーションの評価は、情報技術や現代社会の課題解決と発展への意欲と学科の学びとの関連について評価します。	10:00～随時終了
面接（15分程度）	50点		△	◎	◎	学科での学びへの関心、学習意欲、思考力等を総合的に評価します。	

【現代マネジメント学部現代マネジメント学科（併願制）】

試験内容	配点	満点	学力の3要素			評価方法	試験時間 (9:40入室完了)
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協調性		
出願書類（調査書）	25点	200点	◎		○	出願書類（調査書）を基に、総合的に評価します。	—
出願書類（志願理由書・高校時代の活動・資格取得）	25点		◎		○	出願書類として志願理由書と高校時代の活動、取得している資格を総合的に評価します。	—
小論文	100点		○	◎		問題で示された現代社会に関する新聞記事・コラム・データ等について、自らの分析・見解、考え方、主張などを論述してもらい、その問題意識、分析内容、論理性等について総合的に評価します。	10:00～11:00
面接	50点		△	◎	◎	志願理由、将来展望、本学科の教育内容に対する理解、本学科での学習に対する意欲や態度を総合的に評価します。	11:30～随時終了

3

出願上の注意

1. 出願書類の提出方法

出願用封筒を提出の際には、Web出願システム（マイページ）より出願用封筒宛名を出力し、市販封筒角 2 型に貼付して、簡易書留速達で郵送するか、入学センター窓口へ提出してください。

2. Web志願票入力上の注意

(1) 共通する事項

- ① 出願した後に、出願先等の変更はできません。
- ② 氏名は、「住民票」の氏名を入力してください。外国籍の方で、入学後も通称名の使用を希望する場合は、「住民票」記載の通称名を入力してください。
- ③ 連絡先（郵便番号、住所、電話番号）は、電話等による連絡が可能な住所または居所を入力してください。
- ④ 日付はすべて西暦で入力してください。
- ⑤ 学校名欄には出願資格に該当する学校を入力してください。
- ⑥ Web志願票等の出願書類は A 4 サイズで印刷してください。

(2) 出願後の変更事項について

出願した後に、氏名、住所、電話番号などに変更があった場合は、入学センターまで連絡してください。

(3) 志願票と他の書類の記入内容に不一致がある場合について

Web志願票の記入内容と他の書類に不一致（志願者連絡先等）がある場合は、Web志願票を正として受理しますので、記入の際には十分注意してください。

(4) 出願書類の姓名が現在の姓名と異なる場合について

任意の様式で、変更の理由を記載したものを出願書類とともに提出してください。
場合によっては、証明する書類の提出を依頼することがあります。

3. 受験票等への氏名・住所の表記について

氏名のうち入力できない文字については、置きかえられる文字がカタカナで入力してください。また、住所についても入力できない場合は、カタカナで入力してください。合格後の第 2 次手続の際には、正しい文言に修正して対応いたします。

4

受験上の注意

1. 受験票について

マイページメニューの「オンライン受験票」から、A4 サイズの用紙に印刷したものを必ず持参してください。
P.10 を参照してください。

2. 試験当日の遅刻について

- (1) 試験会場は入室時間より 30 分前から入場することができます。
- (2) 時間には十分余裕をもって来学するようにしてください（公共交通機関の障害、天候等による理由の場合は、特別の措置をとることがあります）。
- (3) 試験開始の前に、出欠の確認を行います。入室時間までに集合してください。遅刻したときには直ちに係員に申し出てください。
- (4) 試験開始時刻より、30 分以上遅刻した場合は受験できません。

3. 試験当日の試験場への入退場について

- (1) 試験中の途中退場はできません。
- (2) 受験者以外の方は、試験が実施される校舎への入場ができません。試験場には保護者控室を用意します。

4. 筆記用具等について

- (1) 試験内容に従って、**筆記用具等** 必要なものを用意してください。

- (2) 筆記試験中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆（H、F、HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る）
- ・プラスチック製消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）

- (3) 試験室において、携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。

5. 上履きについて

試験室への入室にあたり、上履きを用意する必要はありません。

6. 飲食について

飲食等を必要とする受験者は、各自用意するようにしてください。飲食をする際は、係員の指示に従ってください。

7. 受験上特別な配慮を必要とする方へ

身体に障害がある等の理由により、受験上の配慮を希望する志願者は、公募制推薦入試Ⅰ期は2025年10月17日(金)、Ⅱ期は11月14日(金)までに入学センターにお問い合わせください。

8. 試験当日の駐車場について

試験場には駐車場がありませんので、電車・バス等の公共交通機関を利用してください。

9. 試験場の下見について

試験の前日まで校舎の確認はできますが、試験室の下見はできません。

5

合格発表について

合格発表

1. 合格結果は、合格発表当日10：00から、マイページ上で発表します。
2. 合格に関する書類の発送は行いません。
3. 合格した場合、合格通知書・その他の案内書類はマイページよりダウンロードしてください。
4. サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
5. 合格照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続き締切後の入学手続きは認めません。
6. Web出願システムのマイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。

URL

<https://exam-entry.52school.com/sugiyama-u/my>



6

入学手続について

1. 入学手続

入学手続は、第1次入学手続と第2次入学手続による2段階方式となります。入学手続の期日は厳守してください。各期の所定の期日までに入学手続が完了しない場合、入学を許可しません。

●第1次入学手続（入学金の納付）

200,000円

合格発表後、所定の期日までに入学金を納付してください。

※一旦納付された入学金は、いかなる理由においても返還しません。

●第2次入学手続（学籍関連情報と写真データの登録・必要書類の提出）

所定の期日までにマイページから学籍関連情報を登録のうえ、本学が指定する書類を「簡易書留速達」にて郵送、または窓口へ持参してください。

【注意】

第1次入学手続と第2次入学手続の両手続を行うことによって入学手続の完了となります。

第1次入学手続期間と第2次入学手続期間は手続時期が異なりますのでご注意ください。

2. 入学金の振替

異なる入試区分で複数の学科にわたって合格した場合、重複して入学金を納付することがないように、入学金の振替を受け付けています。

3. 入学検定料の返還について

一旦納付された入学検定料は、原則として返還しません。出願しなかった場合または二重に納付した場合に限り、返還請求ができます。

該当する方は必ず入学センターへ事前連絡のうえ、本学指定の書式にて簡易書留速達で送付してください。なお、期日までに書類の提出がない場合は、返還請求がなかったものとして取り扱います。

返還請求期日：入試区分により異なる（請求書式に掲載されている返還請求期日を参照してください）

返 還 予 定 日：2026年3月末

請 求 書 式：入試情報ページ内の学生募集要項・全入試区分共通 参照

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/admissions/download.html>

【注意】2026年3月上旬までに返還内容をお知らせしますので、万が一届かない場合は2026年3月9日（金）までに入学センターまで連絡してください。

事前連絡および提出先：〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3

椋山女学園大学 入学センター（0120-244-887）

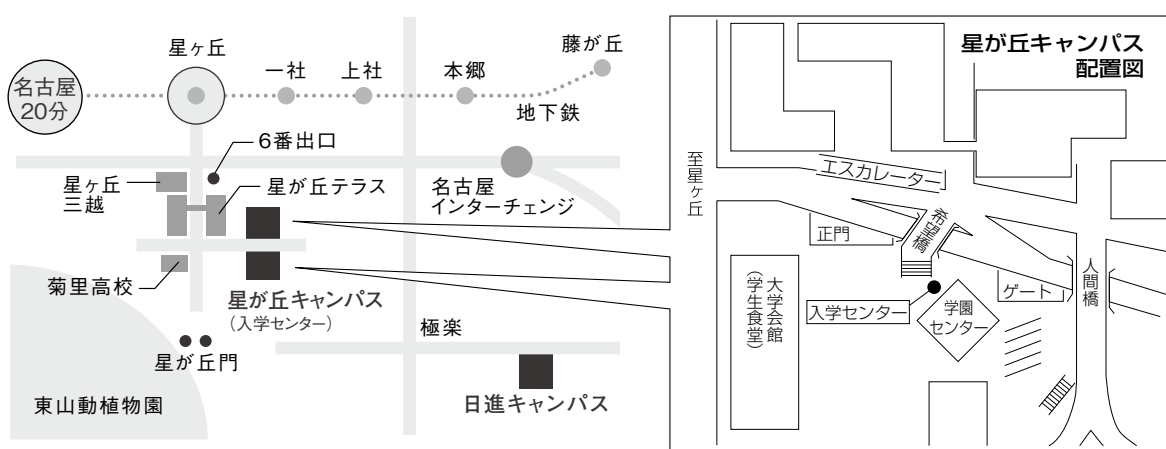
4. 入学の辞退について

第2次入学手続を完了した後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、入学センターまでご連絡ください。

その後、入学辞退届を任意様式で作成のうえ、2026年3月31日（火）入学センター必着でお送りください。

アクセスマップ

試験場には駐車場がありませんので、来学の際は、公共交通機関をご利用ください。



星ヶ丘キャンパス 名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3

■地下鉄 地下鉄東山線「星ヶ丘」下車、6番出口より徒歩5分

日進キャンパス 愛知県日進市竹の山3丁目2005番地

当日の試験会場は星ヶ丘キャンパスとなります。

入学に関するお問い合わせ先

椋山女学園大学 入学センター

〒464-8662 名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3

入学相談フリーダイヤル ☎ 0120-244-887

E-mail happy@sugiyama-u.ac.jp

U R L <https://www.sugiyama-u.ac.jp>